

光伝送装置

GWD 3102(送信機) / GWD 3103(受信機)

GWD-3102 / GWD-3103は、テレメータシステムに使用するデータ伝送装置です。水位計からのダブルブラシ・シャフトエンコーダ出力を電氣的に並直列変換し、単芯の光ファイバで最大10kmまでの伝送が可能です。

特長

- 伝送路は光ファイバなので、雷サージなどの外来ノイズの誘導を受けません。
- 細径、軽量の光ファイバ(単芯)を使用するため布設が容易です。
- 送信機はリチウム電池で動作するため、電源を必要としません。
- 筐体がケーブル成端箱を兼ねているため、特別な接続管を必要としません。



GWD-3102(送信機)



GWD-3103(受信機)

光伝送装置:GWD-3102(送信機) / GWD-3103(受信機)

最大許容伝送損失	5dB(伝送損失0.5dB/kmのケーブルで、最大伝送距離は10km)
適合光ファイバケーブル	コア/クラッド径 9.5/125 μ m 伝送損失 0.5dB/km以下
適合光コネクタ	ST型コネクタ
伝送速度	115.2kbps
伝送間隔	200msec
伝送符号	マンチェスター符号化
伝送フォーマット	調歩同期方式
環境条件(共通)	温度: -10 ~ 40 / 湿度: 95%以下
電源	送信機: 内蔵リチウム電池 容量3.9V、15Ah(筐体内部に金具止め) 電池寿命 約5年 受信機: 外部DC12V(10.5V ~ 16.5V)
外形寸法(共通)	280(W) × 142(D) × 198(H)mm(突起部含まず)

システム構成例

